

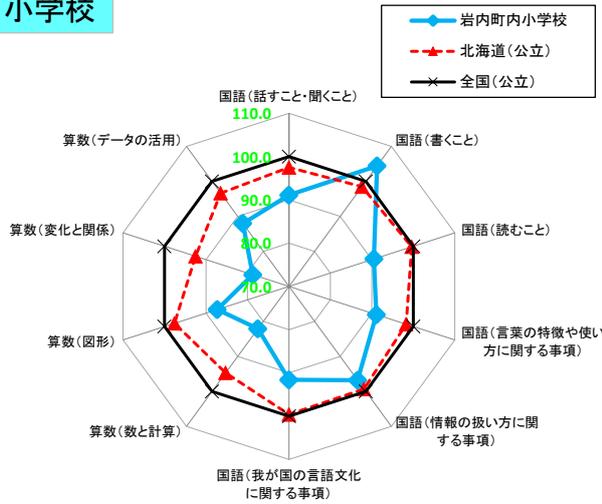
■岩内町内の状況及び学力向上策（小学校数:2校、児童数:63人）（中学校数:2校、生徒数:60人）

【教科全体の状況】

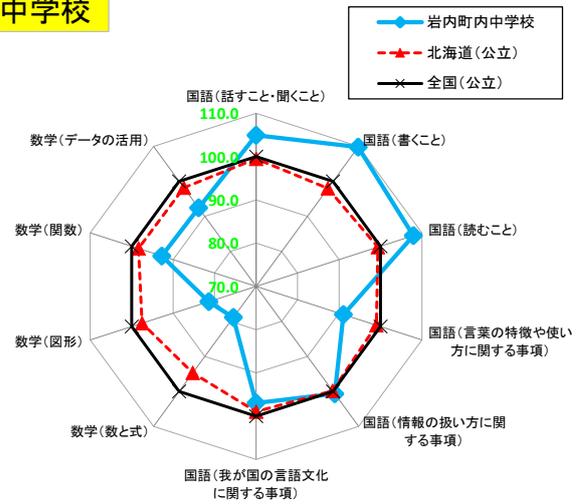
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	63	59
算数・数学	54	46

小学校

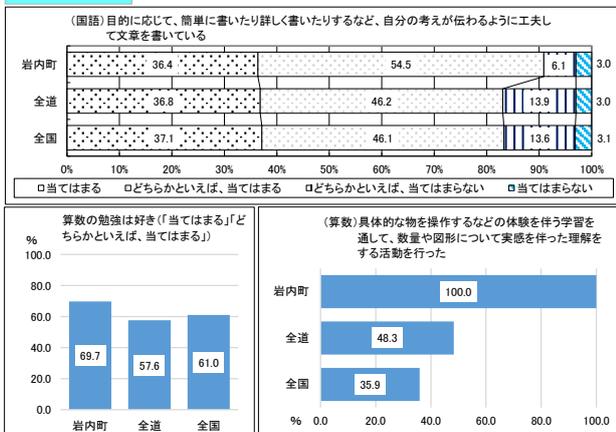


中学校

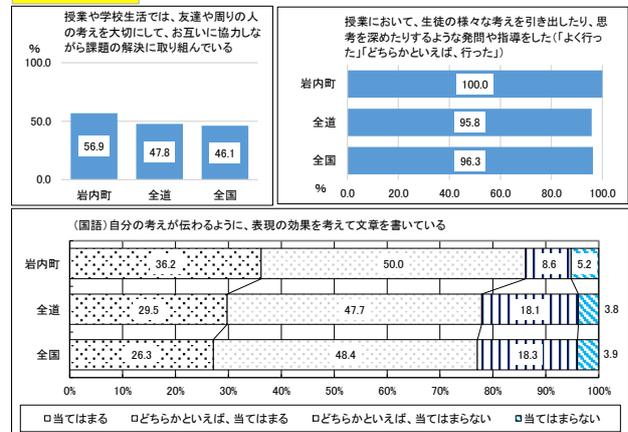


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

**小学校**

国語の授業において、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書く活動を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の「書くこと」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

算数の授業において、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行ったことにより、授業改善が図られ、算数の勉強は好きと肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

**中学校**

授業において、生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしたことにより、授業改善が図られ、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

国語の授業において、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く活動を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の全ての領域、「情報の扱い方に  
関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【岩内町の学力向上策】

- ◎ 岩内町学力向上プランを活用した授業観の転換、小中一貫教育の推進
- ◎ 複数教員の配置による習熟度別少人数指導の実施
- ◎ 基礎学力の定着、向上を図るための学習指導員の配置
- ◎ ICTを効果的に活用した授業の実践